

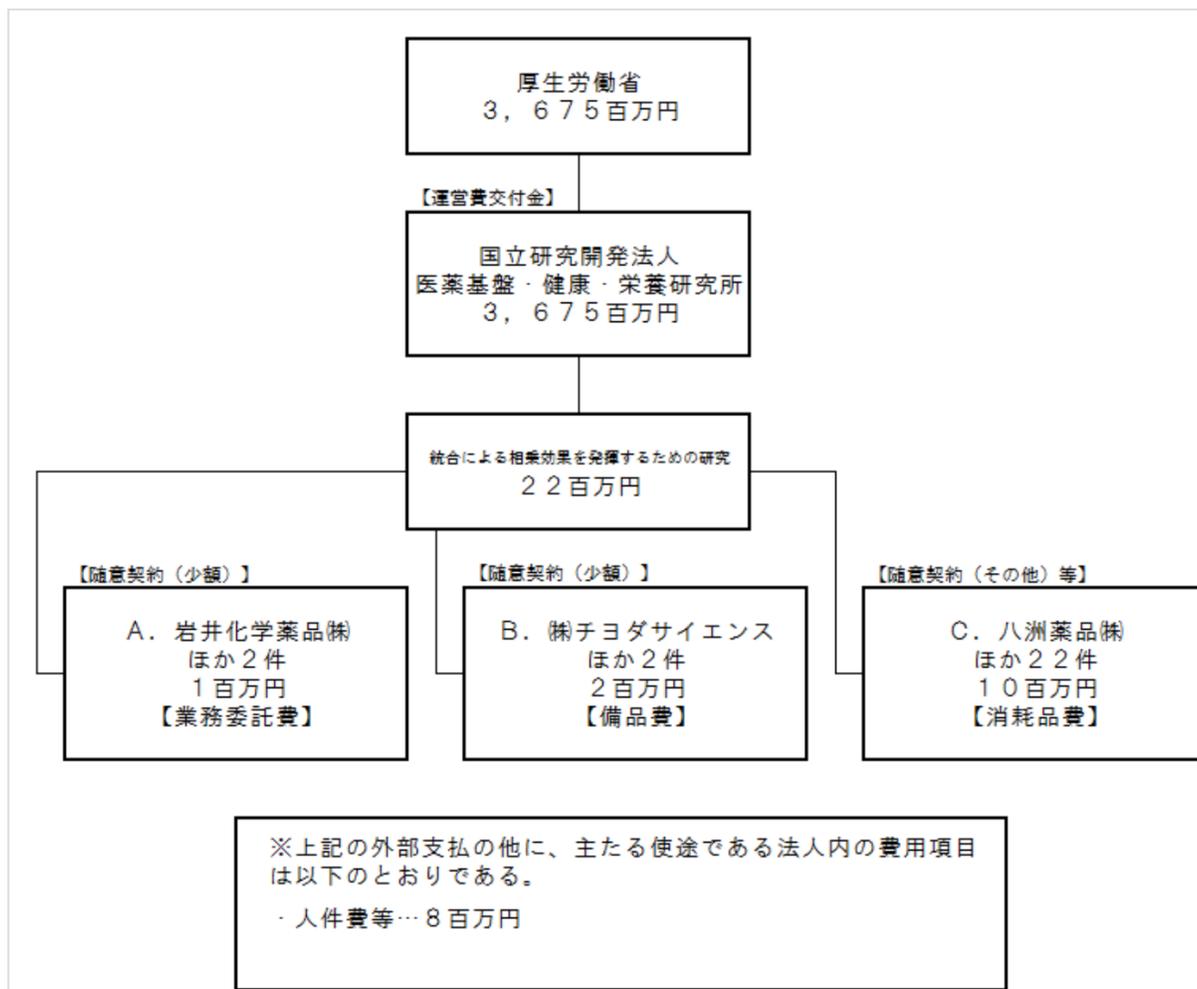
平成29年度セグメントシート (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

セグメント名	統合による相乗効果を発揮するための研究			担当部局	大臣官房		作成責任者			
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	厚生科学課		佐原 康之			
会計区分	一般会計									
セグメント単位の考え方	独立行政法人評価制度におけるセグメント分けに基づき作成した。									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法 (平成11年法律第103号) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所法 (平成16年法律第135号)			関係する計画、通知等	「日本再興戦略」、「科学技術基本計画」、「健康・医療戦略」					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興					
事業目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>旧医薬基盤研究所は、これまで我が国の医薬品等の創出に貢献する研究機関として、着実な成果を上げてきたところであり、また、旧国立健康・栄養研究所は、栄養と身体活動に関する国の施策や健康食品を中心とする国民の食の安全の確保に大きく寄与してきたところである。</p> <p>両法人の統合を踏まえ、革新的な医薬品の研究開発、免疫に関する基礎研究や臨床サンプルを用いた研究等の経験及び薬用植物の鑑別や植物成分の分析等に関する技術を始めとする「医薬品等に関する専門性」と健康食品素材の安全性・有用性に関する研究、生活習慣病に関する基礎研究や疫学調査等の経験及び食品成分分析等に関する技術を始めとする「食品・栄養等に関する専門性」を融合した研究を推進し、国民の健康の保持増進や安全性の確保に資する新たな成果を生み出すため、中長期目標期間中に、例えば以下のような新たな研究課題に取り組む。</p>									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品と食品の相互作用に関する研究 ・生活習慣病の新しい予防法に関する研究 ・健康に関する機能性を表示した食品の品質評価に関する研究 									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	経常収益	予算額: 運営費交付金	-	23	24	19				
		運営費交付金	-	8	22					
		補助金等	-	-	-					
		その他	-	-	-					
		計	0	8	22					
	運営費交付金収益の割合		#VALUE!	100.0%	100.0%					
	運営費交付金収益化基準		-	費用進行基準	業務達成基準 期間進行基準	業務達成基準 期間進行基準				
	経常費用	予算額	-	30	24	19				
		執行額	-	8	22					
執行率		#VALUE!	27%	92%						
平成29・30年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	人件費	5	-							
	一般管理費	4	-							
	業務管理費	10	-							
	計	19	-							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 33 年度	
	統合に伴う共同研究	研究等件数	成果実績	件	-	3	3			
			目標値	件	-	3	3	-	3	
			達成度	%	-	100	100			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所平成28年度事業計画									
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	競争的資金獲得件数			活動実績	件	-	2	3	-	-
			当初見込み	件	-	1	1	1	1	

単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込
	予算額(百万円)／研究等件数	単位当たりコスト		百万円	-	10	5.3
		計算式	/	-	30/3	16/3	
独法等所管部局による点検・改善							
	項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、広く国民のニーズがある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国の政策課題の解決に向けて実施している事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、優先度の高い事業ある。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	少額随意契約であっても、10万円を超える契約については複数者より見積を徴するなど、競争性を確保するよう努めている。また、今後も競争性・透明性を確保するとともに、真にやむを得ないものを除き、可能な限り一般競争入札とし、経費の削減に努めていく。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有			
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	事業の遂行について、妥当なコスト水準を維持している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-	-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	事務用品の一括調達、コピー機等の複数年リース契約等に加え、高額研究機器のリース契約を行い、効率化に資する取組を推進した。		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	成果実績は成果目標を上回っており、見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	研究所の会計規程等に則り契約を行っており、他の方法等より低コストで実施することが出来る。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績は当初見込を上回っており、見合ったものとなっている。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	研究成果を通じて医薬品等の開発を支援している。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金は施設整備のための経費であり、本事業とは事業目的が異なるため、適切な役割分担が行えている。		
	所管府省名	事業番号	事業名				
	厚生労働省	0887	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金				
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品等の開発を支援する研究開発独立行政法人の運営に必要な交付金であり、国が交付金を予算措置する必要がある。 ・希少疾病用医薬品等の開発については、厚生労働大臣が特定した者に対する開発助成金となっている。 ・原則一般競争入札や公募による企画競争等が行われ、競争性が確保されている。 					
	改善の方向性	予算をほぼ執行できる見込みであり、事業の目標も達成できており、このまま継続して事業を実施する。					
備考	医薬基盤研究所と国立健康栄養研究所の統合による新規セグメントのため、平成26年度以前の予算額等については未記載とした。						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.岩井化学薬品(株)			B.(株)チヨダサイエンス		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
業務委託費	マウス肝臓 病理解析(30検体) 1式	1	工具器具備品	卓上細胞破砕機(セルデストロイヤー) 1台 購入	1
			工具器具備品	ノートパソコン 1台 購入	0.3
計		1	計		1.3
C.八洲薬品(株)			D.		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
消耗品費	ヒト遺伝子発現解析用DNAチップ 30枚x3 購入	3			
消耗品費	アルミ 外台車 1個 外8件 購入	0.2			
計		3.2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	岩井化学薬品(株)	8010001036745	マウス肝臓 病理解析(30検体) 1式	1	随意契約(少額)	-	100%	
2	(株)日興商会 高槻支店	1140001050558	OA機器廃棄料 1式	0.1	随意契約(少額)	-	100%	
3	(株)ジェンダーメディカルリサーチ	2010501025856	BDHQ栄養調査質問票処理業務 1式	0.1	随意契約(少額)	-	100%	

